



AIYES 通信

横浜スペイン協会会報

発行：横浜スペイン協会 横浜市鶴見区岸谷 2-18-4 年 2 回発行（1 月, 7 月）

2025 年度横浜スペイン協会定時総会のご報告

【議事録】

1. 日時： 2025 年 5 月 31 日（土）15 時～16 時 30 分
2. 場所： かながわ県民センター 303 号室
3. 出席者： 下山利明、岩田岳久、松村清、原健三郎、大戸正彦、芹沢高、吉田英也、朝倉聡、東隆幸
大戸尚美、熊谷忍、下山綾子、宿野部雅美、橋本和正、久安邦明、星野伸行、山下幸子
吉田明美（敬称略）合計 18 名
4. 議長： 下山会長
5. 議案： 第 1 号議案：2024 年度事業報告
第 2 号議案：（1）2024 年度決算報告
（2）監査報告
第 3 号議案：2025 年度事業計画案について
第 4 号議案：2025 年度予算案について
6. 議決：第 1 号議案から第 4 号議案に関して審議を行い、出席者全員の賛成で承認、可決された。
7. 議事内容：大戸総務担当理事の司会で開会し、冒頭下山会長より挨拶があった。2024 年度も桜植樹を含めた積極的な活動が展開された一方、会員数の減少や高齢化、アクティブ会員の不足、理事業務の負荷の増加など、協会運営の課題も多いとの説明があった。協会規約第 10 条 2 項に従い、下山会長が議長に選出され、大戸理事より第 1 号議案の説明があった。引き続き第 2 号議案（1）について、大戸理事より説明があった。その後同議案（2）について芹沢監事より監査報告があり、2024 年度の会計処理は適切に執行された旨の説明があった。
第 3 号議案について下山会長より基本方針の説明があり、引き続き各担当理事が各業務について説明を行った。スペイン語教室の運営について、岩田理事、松村理事より受講料の値上げやクラスの統廃合実施後の結果報告、今期スタートした入門クラス・アスセナの現状等について報告があった。現役世代の会員を増やすために、土日開催のイベントを増やした方が良いのではとの意見があった。
第 4 号議案について下山会長より、予算策定の基本方針について説明があった。予算のあり方、内部留保の使途と会計処理方法等について質疑応答があり、理事会において今後検討を行う。その他、下山会長より、今期は役員改選期ではないので、現任の理事、監事は現担当を継続する旨報告があった。
以上をもって議事をすべて終了したので議長は閉会を宣した。



*新春親睦パーティー

2025年2月1日 KKR ポートヒル横浜4階 ラ・メール

2月1日(土)、横浜スペイン協会恒例の新春親睦パーティーが開催されました。穏やかな陽ざしを受けて、初参加の夫と共にアメリカ山公園を抜けてそぞろ歩き、KKR ポートヒル横浜へ。会場からは港の見える丘公園がよく見えます。

下山会長のご挨拶に続き、岩田理事による乾杯のご発声、そして来賓の名古屋スペイン協会の相澤様のご祝辞のあと、まずは腹ごしらえ。飲み放題のビールやワインとともにカラフルなおードブルに舌鼓を打ち、名物のカレーもいただきました。「ここはお食事がおいしいのでいつも楽しみなの」というお声も聴きながら、下山会長ご夫妻のお気遣いでいろいろな方をご紹介いただきました。今回の新会員紹介は山崎様、宿野部様の2名。山崎様は長野県で旅館を経営しているということで、そば打ちのお話なども伺えて、歓談の時間はあっという間に過ぎていきます。

そして、今回のメインイベントというべき「口笛世界チャンピオン」の青柳呂武さんの登場です。薔薇がプリントされたソフトシャツに黒いジャケット姿の青柳さん、体全体を楽器に変えての演奏…始まった瞬間から鳥肌が立つほどの感動に包まれました。確かに口笛です。しかし技術力の高さはもちろんなのでしょうが、単なる口笛という世界観を打ち砕かれる壮大なスケールの演奏に感動しかありません。1曲ごとに会場からは拍手の嵐と「ブラボー」の声。ギターとのコラボも素晴らしく至福の時間が過ぎていきました。

最後は恒例のビンゴ大会。下山綾子さん進行のもと、数々の賞品をご用意いただき、はずれなしで大いに盛り上がりました。司会の戸尚美さんのいつもながらの行き届いた進行で、2時間半のパーティーは終始なごやかに進み、多くの方と文字通り親睦を図ることができました。事前にご準備いただいた理事のみなさまには心から感謝申し上げます。来年もさらに多くの方とお目にかかれますように！！(吉田明美)

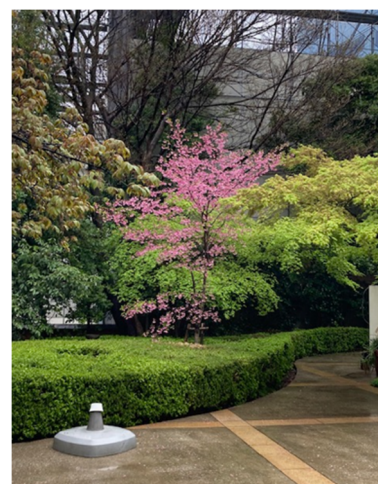
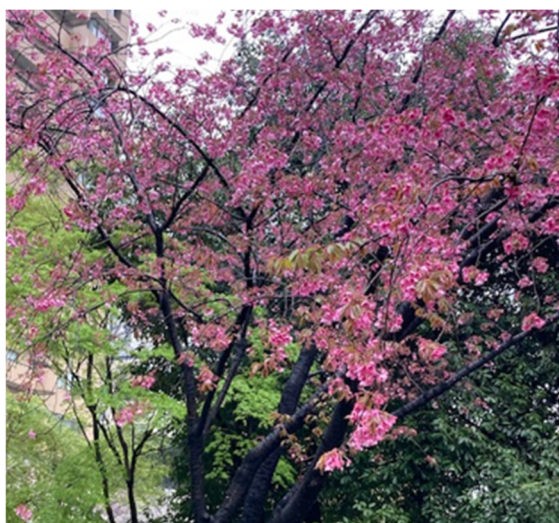


●国際交流

◆Íñigo de Palacio España 大使へのご挨拶🌸スペイン大使館の桜

2025 年 4 月 1 日 在日スペイン大使館

4 月 1 日、今年、1 月に新しく着任された Íñigo de Palacio España 大使へのご挨拶のため、協会を代表して理事メンバーで大使館を訪問させていただきました。Fernando Curcio Ruigómez 文化科学参事官にも御同席頂き、新大使に我々の活動をご説明し、歓迎会と名誉会長就任式へのご出席をお願いいたしました。創立 15 周年の記念に寄贈植樹した横浜緋桜が満開でした。30 周年の記念に植樹した苗木はまだ花の数は少なかったのですが、順調に育っていて、これから大使館訪問者の目を和ませてくれますでしょう。



◆ホセ・マヌエル・ブランコ氏ご家族来日歓迎会

2025 年 2 月 26 日 大新園（元町中華街）

過去 4 回 (2015, 2017, 2018, 2024) に渡りさくら植樹を実施した際、現地のコーディネーターとして大変お世話になったレオン県ビエルソ郡在住のホセ・マヌエル・ブランコ氏ご家族が、久しぶりに来日されました。過去 4 回の植樹に参加された会員有志で歓迎会を開催しました。過去に訪問した際の写真を見ながら、思い出話に花が咲き、とても楽しい時間を共有することが出来ました。（下山利明）



◆Ivars イバルス日本祭り (MATSURI de PONENT)

バルセロナから約 100 キロ西へ離れた人口 1,500 人の小さな村イバルスに、日本大好きスペイン人 4,000 人が集まるお祭りがあるなんて、ご存じの方はまずいらっしゃらないでしょう。もちろん私も全く知りませんでした。今年入会された会員の山崎良弘さんに教わるまでは…。

2 月の新春親睦パーティーで山崎さんからお話を伺い、興味が湧いた私は、スペイン語クラスのお仲間を誘って、そのお祭り MATSURIdePONENT に参加することにしました。それならば、桜の樹を 1 本植えてきたら、と夫の会長のひらめきで、「さくら植樹」を申し出ましたところ、先方は大喜びの快諾。市長直々に、お祭り当日植樹のセレモニーまで用意して下さいました。「さくら植樹」を通したスペインとの国際交流は、チャンスがあれば何処にでも！と本協会のメインの活動の実践であります。

このお祭りに繋げてくださった山崎さんは、信州蕎麦をスペインで普及させる活動を長年続けていらして、彼が作った「信州蕎麦切り音頭」は数年前から、お祭りで踊られています。私たち参加メンバーも急遽踊りをおぼえて、当日踊りの輪に入りました。日本大好きスペイン人の皆さんは、炭鉾節・東京音頭・花笠音頭…、子供の頃近所の盆おどりで聞いた懐かしい音頭を皆さんキチンと踊ります。他にも、和太鼓、書道、盆栽、けん玉、たこ焼き、焼きそば、抹茶、そして今は日本のポップカルチャー漫画、アニメ。皆さん私よりも詳しくご存じの様子です。

今年で 4 回目の MATSURIdePONENT は、年々参加人数が増えているとのこと。「来年もまたきまーす」などと調子よいご挨拶をして、お祭り翌日には日本に帰る機中に。今振り返ってみても、嘘みたいな、夢みたいな、不思議体験でした。35 年前にアンダルシア・ロンダに植えた桜の樹が今年も元気に満開とのお知らせが届きました。来年からは、イバルスの桜便りも楽しみになりました。お手植えの桜ちゃんを見守りに、Ivars はまたいつか訪れたい場所の一つとなりました。(下山綾子)



※植樹の由来のプレートを用意

※左から

- ・お祭り実行委員 Sr.Genís Castelló
- ・バルセロナ日本領事 四方明子氏
- ・Ivars 市長 Sr. Joan Carles Sánchez
- ・下山綾子
- ・芹沢高（協会監事）



※桜の樹はごく最近市が買い上げた
拡張中の広場に植えました。市庁舎も数年前に新築されたモダンで美しい
建物でした。

市職員の皆さんと記念撮影 ⇒





※前日には、TV 出演？



※書道パフォーマンス 植樹した「関山桜」と書いていただきました。 ※蕎麦打ちデモンストレーション

会場は、村のメインストリート
を封鎖して設営されまし
た。椅子テーブルが並べられ
たテントの下には、日本のビ
ール、たこ焼き、蕎麦、抹茶
…どれも美味しそうです。書
道や蕎麦打ちのパフォーマン
スを集まって見学できる会場
の他、広いスペースは太鼓や
盆踊りの会場になっています。



※日差しの強い時間から、影が長く伸びる頃まで、楽しく踊る皆さん

●スペイン語クラス

◆「新聞雑誌をスペイン語で読むクラス」特別公開講座のご報告

2025 年 1 月 25 日 波止場会館

1 月 25 日に開催された特別公開講座『2024 年におけるアルゼンチンの政治・社会・経済』に参加しまし
た。講師はブエノスアイレス大学の Diego Barbanente 先生です。

アルゼンチンでは 2023 年 12 月、政治経験の乏しいハビエル・ミレイ氏が大統領に就任しました。今回は就
任に至る背景とその評価、今後の展望について詳しい事情を交えながら解説して頂きました。

独裁制、ハイパーインフレ、デフォルトによる金融危機、そしてポピュリズム政権の台頭。アルゼンチンは
長く政情不安と経済危機に苦しんできました。ミレイ大統領はこのポピュリズムという伝統的な政治体制
を断ち切るべく誕生しました。従来にはない対外関係の構築、経済面でのインフレ抑制、通貨ペソの対ドル
相場安定などでは肯定的な評価があるものの、制度的問題(議会や司法に及ぼす大統領の巨大権力)や貧困
撲滅のための投資誘致、失業・年金対策、大統領としての資質など不安要因もあるようです。他にも副大統
領、報道機関、市民との関係など憂慮すべき点はあるものの、今年末の議会選挙、そして 2027 年の大統領
再選に向け各党との連携や政権維持についても注目されるとのことです。『南米のトランプ』と呼ばれ、過



激な言動が耳目を集めるミレイ氏ですが、根深いポピュリズムの弊害
や、国内の現状など日本のメディアでは得難いお話を伺える大変貴重
な機会でした。 国内外の課題や本人の資質、南米独特の事情などあ
るようですが、経済面では一定の成果をあげており、公約に掲げてい
たように将来的に自国ペソを廃止して米ドルを法定通貨に出来るのか、
長期政権は可能なのか、不透明な世界情勢の中で、ミレイ氏とアルゼ
ンチンの動向には今後も目が離せないと感じました。(後藤美砂緒)

◆スペインサークル「スペイン文学に親しむ会」

(毎月：第3金曜日 14:00～15:30 教室:かながわ県民センター)

2023年に「スペイン語文学を読むサークル」として開講、清泉女子大学名誉教授の吉田彩子先生にご指導頂き参加者11名で活動しております。吉田彩子先生に講座の内容を下記のとおりご紹介頂きます。

月に1度第3金曜日に集まってスペインの現代文学を読んでいます。これまでに取り上げた作品をご紹介します。最初はハビエル・マリアス(1951-2022)の短編集から2篇、作者16歳の時の作品と円熟期のMientras ellas duermen。後者は『女が眠るとき』という邦題で映画化されていますが、原文で読むとまた別の味わいで、避暑地で知り合った人物との何気ない会話が殺人の告白?に変わっていく「恐怖」の感覚がなんともいえません。2017年頃からノーベル文学賞の候補と噂されたマリアスですが、コロナ禍の中で亡くなったのが惜しまれます。これに続いて、現在読んでいるのはフランコ時代を代表する女性作家アナ・マリア・マトゥテ(1925-2014)の『Los niños tontos 愚かな子供たち』(1956年刊)。子供を主人公にした21の短編で子供向きの読み物に分類する人もいますが、残酷な、ゾッとするような話が多く、子供に悪影響を与えると発禁になりかけた経緯があります。処女作から検閲による削除を命じられ、フランコ政権と、性格の合わない夫という二重の抑圧に苦しんだ作者が、子供が生まれたばかりの幸せだったはずの時代に、人生と社会に対するにこのような視点を持っていたことに驚かされます。次に予定しているのは映画『エル・スール』の原作となったアデライダ・ガルシア＝モラレス(1945-2014)の同名の中編です。映画で扱われているのは物語の途中までなので、比較が楽しめることと思いますが、興味深いのは作者自身です。『エル・スール』執筆当時はこの映画の監督でもあるビクトル・エリセ(1940生)と婚姻関係にありましたが1995年頃には離別し、その後はセビリャに近いドス・エルマナスという町で、ほとんど忘れられ貧窮のうちに亡くなったと伝えられました。『エル・スール』は今も高校の教科書に取り上げられ、2016年には29版が刊行されたそうで、どうしてそのような晩年になったのか。謎は、短編集『兎の島』(2019年)が邦訳されている新進作家エルビラ・ナバーロ(1978年生)によって『アデライダ・ガルシア・モラレスの最後の日々』(2016年刊)として小説化されました。フランコ時代に青春を過ごした女性作家の民主化への移行期を象徴する作品を、その生涯に思いを馳せながら読むことになるでしょう。

サークルで何を読むかは受講される皆様とのご相談で決めています。一人では難しそうだけれど、一度読んでみたいとお思いの作家があれば、ぜひご提案ください。(文責・吉田彩子)

*参加、見学等サークルにご興味をお持ちの方は下記までご連絡ください。

akkyo-106@jcom.home.ne.jp 福長昭代

◆クラス委員会のご報告

2025年2月5日 中華レストラン「煌蘭」

2025年2月5(水)日に神奈川県民センター近くの中華料理店「煌蘭」にて第24回クラス委員会が開催されました。当日は委員会に先立ち講師の先生方にもご参加いただいて昼食会が開催され、引き続き下山会長、各理事、各クラス委員計13名が参加して委員会が行われました。まず松村、岩田両理事から今年の活動概要と今年の計画が説明され、その後各委員からクラスの状況報告がありました。

今年の主な動きとしては、受講者減少への対応としてパンフレット配布、デジタル掲示板への広告掲載、ホームページの充実等の広報活動を強化しました。また、カメラアクラスの閉講やフレッシュクラスのマグノリアへの統合などクラス再編を行いました。そして受講料を1回1500円から2000円に値上げし収益改善を図りました。本年度の新しい動きとしては入門クラス(アスセナクラス)が4月から開講されており、ビクトル先生によるお試し初・中級会話クラスが6月、7月に4回開催され、5名以上の受講生が継続する見通しが立てば月1回の通常クラスとする予定です。各委員から報告されたクラスの状況としては、一部のクラスで講義外のおしゃべり時間が長いといった懸案事項を改善中であることを除けば、概ね問題は無く順調であることが確認されました。最後に下山会長から、今後も受講生を増やす努力を継続して欲しい旨のコメントがありました。(芹沢 高)

◆初めてのスペイン語「アスセナクラス」のご紹介

2年毎に開講している入門クラス「アスセナクラス」は4月に開講し、現在7名の受講生が本橋先生のご指導のもとに授業に取り組んでいます。

先日授業風景の写真を撮るためにクラスを訪問したのですが、皆さん既に何年も共に机を並べて勉強されているような親しさと共に積極的に学ぼうとされている熱心さを感じました。ちょうどお邪魔した時、本橋先生が受講生各自にスペイン語で挨拶する場面のシナリオを作成するよう指示し、その後できたシナリオを交換して会話文を読みあうという授業を行っていました。和気あいあいとした授業の雰囲気に、もうちょっと居ようかなと思いましたが、いやいやお邪魔だと思い直し教室をあとにしました。(岩田岳久)



●スペイン・サロン

◆「講演会のご案内」

①日時：7月19日(土) 13:30～15:30

会場：波止場会館 1階多目的ホール

演題：「グローバル化の起点としてのコロンブスとコルテスー動植物・病原菌の移動と日本人移民を含めてー」

講師：流通経済大学名誉教授 関哲行氏

②日時：10月25日(土) 14:00～16:00

会場：かながわ県民センター711号室

演題：「続・五感で感じるスペイン史の重要性と多様性」(仮)

講師：神奈川大学外国語学部 教授 黒田祐我先生

※参加費：1,500円(会場でお支払いください) お申し込み：spain_salon@yokohama-spain.jp

●スペイン・サークル

◆旅でスペインを識ろう会

① 2025年1月20日(月)

「車で巡る、スペインからポルトガル」開催(下山綾子さん)

② 2025年2月10日(月)

「レオン県のさくら植樹視察とマドリッドから途中巡礼路140kmを経てバルセロナへの旅」
開催(原、服部、胡桃澤さん)

③ 2025年3月10日(月)

「メキシコ「死者の日」弾丸ツアー」開催(古賀さん)

④ 2025年4月14日(月)

「スペイン巡礼の旅ーフラメンコと共にー」開催(坂間さん)

⑤ 2025年5月19日(月)

「私の1969年のスペイン初体験、そしてスペイン内戦とは？」開催(法政大学名誉教授 川成洋先生)

⑥ 2025年6月9日(月)

「スペインの三大祭りとトマティーナ~その起源に迫る~」開催(山田さん)

*旅の会は8月を除き毎月第2月曜日の3時から、かながわ県民センターにて開催します。

発表内容は、スペイン国内、スペイン語圏を旅された方々の旅行記、その地に関連した歴史、建造物、お祭り等です。

🌸 さくら便り ～ロンダの桜

ロンダ在住、現地コーディネーターをしてくださっている、井上綾さんから、今年も、美しく咲いている桜の写真が届きました。ロンダでの植樹は、過去3回(1993, 1998, 2023)実施しています。市民の憩いの場所であると共に、観光客の写真スポットにもなっています。



1993 年植樹の桜



2023年植樹の桜

新会員紹介

宿野部 雅美 (Masami Shukunobe)

東京都国立市在住

2025 年 4 月 入会

松本 明宏 (Akihiro Matsumoto)

横浜市港北区在住

2025 年 4 月 入会

山崎 良弘 (Yoshihiro Yamazaki)

長野県松本市在住

2025 年 4 月 入会

東 隆幸 (Takayuki Azuma)

横浜市神奈川区在住

2025 年 4 月 入会

橋本 和正 (Kazumasa Hashimoto)

横浜市中区在住

2025 年 5 月 入会

<< 賛助会員各社の会員サービス内容 >>

◆ 会員証の提示で、下記賛助会員企業より表記のサービスが受けられます。

賛 助 会 員	住 所	☎ 番号	会員サービス
カサ・デ・フジモリ 関内本店	横浜市中区相生町1-25	045-662-9474	サングリア 1 杯無料
Bar Español	横浜市中区相生町2-43-2	045-651-1074	サングリア 1 杯無料

【編集後記】 マドリードまでの機中、隣の席は中国人の青年でした。ドーハを発って暫くして地中海上に出ると外が気になる様子で、窓側席の私に話しかけてきたのがきっかけで、しばらくお話をしました。私が日本からとわかって、漫画が好きだと。「キャプテン翼」「スラムダンク」。人気漫画なのはよく知っていますが、申し訳ないけど話は続きません。現代では、日本文化といえば漫画・アニメなのですね。そういえば、羽田空港にアニメグッズのお土産がたくさん並んでいましたわ。ゲイシャフジヤマじゃないのは解ります。でもシンデレラでもなく、今はポケモンガンダムを語れないと、海外の若者と乗りのいい話が出来ないと悟りました。別便でスペイン旅行をした義妹は、機内で折紙のピカチュウを折っていたら、隣席のケニヤ人女性とポケモンで盛り上がったとか?! なるほど、それな! 少しは日本のポップカルチャーを知っておかないと…ですね。(A. S)

編集長/下山綾子 編集委員/ 岩田岳久 大戸正彦 下山利明 原健三郎 松村清

投稿寄稿宛先 E-mail

全般 : info@yokohama-spain.jp

スペイン語教室: spanish_class@yokohama-spain.jp

スペイン・サロン: spain_salon@yokohama-spain.jp

ホームページ : <http://www.yokohama-spain.jp>

横浜スペイン協会